

☆☆☆☆☆ SVCホームページURL <http://shinmachi-sc.org/club01.html> ☆☆☆☆☆

今年の6月23日は特別な日

代表指導者 小 出 利 一

昭和37年6月23日、日本体育協会設立50周年を記念して青少年健全育成と健康な身体を持つ青少年の育成を目的に「スポーツ少年団」が設立されました。

当時は、2年後の東京オリンピックを前にして「子ども達の肥満」が社会問題になり始めた時代だったそうです。オリンピックを契機にスポーツ熱が高まって、スポーツ少年団は全国に拡がり、新町にも昭和42年 第二区スポーツ少年団（現在のSVCの前身）が設立しました。当時のスポーツ少年団は、中学生と高校生を中心として団員構成で6年生が正団員、5年生と4年生は準団員という扱いでした。団活動も現在のSVCのように様々なスポーツ・野外活動を中心にした活動でした。その後、時代の流れ（中学校が荒れて部活動を生徒指導の一環としたため中学生以上の団員が激減）で小学生が1つの種目だけを試合を中心に活動する少年団へ変化して現在に至っています。

SVCも昭和52年から平成3年まで男子はサッカー・女子はバレーを中心とした活動方法に変えて活動しましたが、一貫していたことは、中学生と高校生リーダーの育成を継続していたことです。平成4年「ドイツのスポーツクラブを目指す」を合い言葉にしてSVCの活動を再度リニューアルして「日本スポーツ少年団の理念に添った活動プログラムを実施」しながら、子ども達が主体的にスポーツ種目を選択できて地域の中で信頼されるスポーツ少年団を目指して活動しています。このような活動には、高いボランティア精神を持った指導者と保護者の協力が絶対条件です。子ども達の育成には地域力が必要です。その地域力の源は保護者の協力なのです。うちの長男も長女も家庭と学校だけで育ったのではなく、たくさんのSVC関係者によって育ててもらい大変感謝しています。

6月23日はもう一つ忘れてはいけない特別な日でもあります。それは、沖縄戦終結の日で、沖縄県では、毎年、SVCの団員達が訪れて平和について考える平和祈念公園で慰霊祭を開催する日でもあります。日本国内で唯一地上戦になって、たくさんの若者が犠牲になり沖縄の人達の心を深く傷つけ、今も基地の70%以上を依存しながら、本土で生活している私は、正直、平成9年3月まで真実を知らないまま生きてきました。沖縄で真実を突きつけられた時に計り知れないショックと申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。このことがきっかけで沖縄県糸満市（最も犠牲者が多い地域）の友人でもある神谷指導者に協力をお願いして沖縄交流を始めました。歴史の中で、あれほどの犠牲者を出した戦争。若者がたくさん犠牲になって今の日本があることを忘れないためにも沖縄戦のことを大人のみなさんに考えていただけると幸いです。

【通常活動】

7月1日・8日・15日・22日・29日 毎週日曜

10時～ 新町第一小 校庭&体育館

Boks活動 8日・29日となります。

【ドッジボール特別活動】

7月7日・14日・28日 毎週土曜 10時～ 新町第一小
体育館

【ドッジボール大会】

7月21日（土）たかべんカップ ぐんまアリーナ

